<u> </u>	4/4 10 1	11-1	,								
事務No.	12-	-007	事務内容	福祉	避難所(長寿課関	係施設分	·)			
総合計画施	短策コ	ード	22-		事務開始年度			平成25年4月		長寿課	
予算科目		03款	01項	03目	大事業	01	中事業	99	担当課名		
事務事業	名	人件費	ŧ								
(中事業/	名)	(一般職員	(5人))

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	災害時における二次避難所としての福祉避難所を確保し、安定した運営を図るため。
事務の対象 (誰(何)のために)	指定避難所で生活することが困難な高齢者
事務の概要 (具体的に何を)	災害発生時に福祉避難所が効果的に機能するための準備

●事務費の内訳【DO】

	項	目		平成2	8年度(決	算)		平成29年	度(決算)		平原	成30年度(-	予算)	
事	務	費	1			0円			(0円			(0円
人		工				0.0人			0. (0人			0.0	0人
人	件	費	2			0円			(0円			(0円
総事	務費	3(1)	+2)			0円			(0円			(0円
終	使用料	斗・手数	数料			0円			(0円			(0円
総事務費 ③	国から	の支持	出金			0円			(0円			(0円
源務	県から	の支持	出金			0円			(0円			(0円
訳③	市費					0円			(0円			(0円
0	その他	<u>p</u> ()			0円			(0円			(0円
H29	総事務	务費③	の対前	前年度差額		0	円	H29 総事務	務費③の対	前年	度比率		0.0	00%
(対前	事彩 前年度	落費の 比10%	増減理る超の	E由 場合記入)										
-	+ √√ ±1.	лHа		項	目			概	要			金	額	
=	事務費 主な支	出項目)	なし										
	(H29決	算額)												
							·				·			

	○事務全体の結果	見を示すもので、具体的	Jな活動	動量や活動実績(アウト	プット	.)		
(目標値)	具体的な指標	福祉避難所の開設及び運	営に関	する協定書を締結した法	人数			
信指	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位	
) /示	1日1示 771 庄1岁(豆)	13	法人	12	12 法人 12 法			
410	○事務で得たい成身	果を示すもので、受益者(市民)の	観点から捉えた具体的な	効果や	効用(アウトカム)		
目果	具体的な指標	福祉避難所の指定数						
(目標値)	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位	
○/示	1日(学 (2)1日(2)	28	施設	27	施設	27	施設	
活動	一単位当たりの	平成28年度	平成29年度		平成30年度			
コ	スト(③÷④)		0円		0円		0円	

事務No. 12-007

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	毎年
事務の終了時期が 未定の場合の理由	協定を結んだ法人 る必要があるため	や施設に変更があったり、新たな法人や施設が出来るため	随時見直しを続け

●個別評価【CHECK】4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

	THI IIII	ľ	HEUN 4	・ 週上 3・ 燃ね 週上 2・ ~ ~ ~	11/62/1/	W) W	1.问趣がめる 0.該目なし				
			評	価 項 目	評価		評 価 項 目	評価			
	妥	市	が実施する	ることが適当であるか	4	効	事務の目標に対して費用がかかりすぎてい ないか	4			
評	当	ニに	ーズを把技 あったもの	屋し事務を見直して、社会情勢 のになっているか	4	率	事務時間は適切なものになっているか	2			
	性			成果がはっきりし事務内容が対 できるものになっているか	4	性	事務の費用、時間に対してその効果が広く 及ぶものであるか	2			
価	価 有 事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか					公	受益者に偏りはないか、また、受益者負担 の割合は適切か	4			
					2	平	受益者負担を求めていない、また、求めて いる状況は適当か	4			
	性 事務成果が上位施策の目標達成に貢献して いるか				3	性	サービスの提供方法に公平性を欠いていな いか	4			
評	価の約			運営マニュアルを作成したが、	地域防	5災計画	面の変更に合わせて見直しをしていく必要がる	ある			
			(評価)	今後は、内容を見直して事務を	拡大す	⁻る。					
事務の	の方向の	性	(理由)	避難行動要支援者名簿で要介護 あり、施設数や床数を増やして	€3以上∙ 「いく必	の登録 公要があ	数は約750に対して、提供可能床数は約200と あるため。	差が			
			は市民 方向性	福祉施設を運営している法人と	、と協定を結び委託している						
事	務全位	 体の	課題	福祉避難所が効果的に機能するいて検討が必要	ための	運営力	方法や、福祉避難所自体が被災した場合の対応	芯につ			
			Larrage								

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の 近隣市の実施状況 社会福祉施設との協定は5市ともされており、うち4市は今後も追加していく予定である。

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上 に向けた意見等

●改善案【ACTION】

今後の改善策

新規の社会福祉施設との協定や、協定を結んでいる施設への増床により提供可能床数を増やしていく。

●企画政策課の評価

企画政策課の意見

福祉避難所を必要とする高齢者のため、計画的に効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。

<u> </u>	47 4 11 1		•								
事務No.	12-	-008	事務内容	特養	使用貸借	関係					
総合計画旅	恒策 コ	ード	433		事務開	始年度	平成 7	7年度	担当課名	長寿課	
予算科目		01款	01項	01目	大事業	01	中事業	99	担目踩行		
事務事業	名	人件費	ŧ								
(中事業/	名)	(一般職員	(8人))

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	社会福祉事業に寄与するため
事務の対象 (誰(何)のために)	貸与先の社会福祉法人
事務の概要 (具体的に何を)	市有地を社会福祉事業の用地として、運営法人に無償貸与している。 (人件費は介護保険特別会計より支出)

●事務費の内訳【DO】

	項	目		平成2	8年度(決	算)	平成2	9年度(決算	章)	平原	戊30年度(予算)
事	務	費	1			0円			0円			0円
人		工				0.1人			0.1人			0.1人
人	件	費	2		70	7, 298円		710), 461円			718,991円
総事	務費	3(1)+(2))		70	7, 298円		710), 461円			718,991円
松	使用料	斗・手	数料			0円			0円			0円
財源内訳 別源内訳	国から	の支持	出金			0円			0円			0円
源務内費	県から	の支持	出金			0円			0円			0円
訳③	市費				70	7, 298円		710), 461円			718,991円
の	その他	<u>p</u> ()			0円			0円			0円
H29	総事務	务費③	の対前	前年度差額		3, 163	円 H29 総	事務費③	の対前年	度比率		0. 45%
(対言	事務前年度	募費の 比10%	増減理る超の	里由 場合記入)								
-	+ √⁄/ 曲.	лHа		項	目		概	要			金	額
=	事務費	出項目	<i>)</i>	なし								
	(H29決	:算額)			·		•			·		

○ ĭT.	○事務全体の結果	見を示すもので、具体的	Jな活動	動量や活動実績(アウト	プット	.)					
(目標値)	具体的な指標	貸付対象施設数									
信指	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位				
) /示	1日1示 471 庄1岁(五)	3	か所		3 か所						
410	○事務で得たい成身	果を示すもので、受益者(示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)								
目標果	具体的な指標	なし		_							
(目標値)	指標の推移	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位					
ン伝	1日1宗 (271年19										
活動	一単位当たりの	平成28年度		平成29年度	·	平成30年度					
コ	スト(③÷④)	235, 7	766円	236, 8	820円	239),664円				

事務No. 12-008

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が 未定の場合の理由		地には社会福祉施設が整備されており、利用者も大勢いる 困難である。	こことから、終了

●個別評価【CHECK】4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

	тин нис.	10	HEUN 4			(V) (V)	1・印度かのの 0・該当なし	⇒∓: / ₩
			評	価 項 目	評価			評価
	妥	市	が実施する	ることが適当であるか	4	効	事務の目標に対して費用がかかりすぎてい ないか	4
評	当			屋し事務を見直して、社会情勢 のになっているか	4	率	事務時間は適切なものになっているか	4
	性		題,目標,原 的に説明	1	性	事務の費用、時間に対してその効果が広く 及ぶものであるか	2	
価	事務が予定どおり進捗し目標を達成できて				3	公	受益者に偏りはないか、また、受益者負担 の割合は適切か	3
					3	平	受益者負担を求めていない、また、求めて いる状況は適当か	4
	性 事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか			上位施策の目標達成に貢献して	2	性	サービスの提供方法に公平性を欠いていな いか	2
評	価の約			当初は、地域に特別養護老人ホ が用地を確保し、施設を運営す たい。	ームを るケー	確保するが一	するため必要な手続きであった。現在は、法,一般的であるため、無償貸与とは別の方法を材	人自ら検討し
			(評価)	今後は、内容を見直して事務を	·縮小又	(は統合	合する。	
事務の	の方向か	性	(理由)	法人へ土地の売却又は無償譲渡	を検診	する。		
民間委託又は市民 協働拡大の方向性 無し								
事	務全体	本の	課題	一部の法人に対し、市有地の無	償貸与	を継続	売すること。	
■ \ C.P	* ~ II	ΣП	[CHECK]					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の 近隣市の実施状況 西三河9市のうち西尾市を含む5市が市有地の無償貸与を実施している。

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上 に向けた意見等 売却、有償貸与、無償譲渡の順に検討が必要である。

●改善案【ACTION】

今後の改善策

売却、有償貸与、無償譲渡の順で検討する。

●企画政策課の評価

企画政策課の意見

市有地の売却や譲渡等を検討するなど、効率的で公平な事務の執行に努めていただきたい。

	.,											
事務No.	12-	-032	事務内容	居宅	介護サー	ビス利用	者負担額	助成				
総合計画施策コード			433		事務開始年度		平成13年度		担当課名	長寿課		
予算科目		03款	01項	03目	大事業	11	中事業	02	担目硃石			
事務事業名 介護保険低所得者対策事業												
(中事業名	4)	(居宅介護サ	ービン	ス等利用者	之					,)

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

→ → 101 (1 PUTL)	
事務の目的 (どうするために)	低所得者であって、生計を維持することが困難である世帯に属する要介護又は要支援の状態にある者の福祉の増進に資するため。
事務の対象 (誰(何)のために)	低所得者で居宅サービス利用者
事務の概要 (具体的に何を)	居宅サービス利用者のうち、低所得者に対し、利用料の一部を助成する。

●事務費の内訳【DO】

	項	目		平成2	8年度(決	算)		平成29年	度(決算)		平成	戈30年度(予算)
事	務	費	1		8, 53	5,000円			8, 683, 00	0円		8, 900, 000円
人		工			0.2人	0.2人				0		
人	件	費	2		4,597円	1,420,922円				1, 437, 982		
総事	務費	3 (1)	+2)		9,597円			10, 103, 92		10, 337, 982円		
经	使用料	4・手数	效料			0円				0円		0円
総事務費 ③	国から	の支出	出金			0円				0円		0円
源務	県から	の支出	出金		1, 32	0,000円	1, 369, 000円			1, 950,		
訳③	市費				8, 62	9,597円	8,734,922円			2円		8, 387, 982円
0	その他	<u>1</u> ()			0円	円 0円					0円
H29	総事務	务費③	の対前	前年度差額		154, 325	円	H29 総事剤	务費③の対	前年	度比率	1. 55%
(対南	事務 前年度	秀費の場 比10%	増減理の超の	l由 場合記入)								
-	+ √/ 曲.	лHл		項	目			概	要			金額
	主な支	の中の 出項目)	手数料		代理申請	手数	料				1,052,000円
	(H29決	算額)		扶助費		助成金						7, 631, 000円

○ ›T.	○事務全体の結果	見を示すもので、具体的	Jな活動	動量や活動実績(アウト	プット	.)				
(目標値)	具体的な指標	助成金交付件数(年間延	ベ件数	:)						
信指	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位			
一位	指综·ហ在移住	2, 535	件	2, 468	件	2, 500	件			
4-0	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)									
(目標値)	具体的な指標	助成金対象者数(年間延	ベ件数	:)						
信指值概	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位			
一分保	1日保り1田19	3, 015	件	2, 886	件	2, 900	件			
活動	一単位当たりの	平成28年度		平成29年度		平成30年度				
コ	スト(③÷④)	3, 9	925円	4, ()94円	4,	135円			

事務No. 12-032

<u> </u>	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が 未定の場合の理由	低所得者の利用料	負担の増大につながるため。	

●個別評価【CHECK】4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

	11日十二日11	ľ	HEUN 4	<u> </u>		$\alpha \gamma ' \omega$	1.问趣がめる 0.該目なし	
			評	価 項 目	評価		評 価 項 目	評価
	妥	市	が実施する	ることが適当であるか	4	効	事務の目標に対して費用がかかりすぎてい ないか	3
評	当			屋し事務を見直して、社会情勢 のになっているか	4	率	事務時間は適切なものになっているか	1
	性			成果がはっきりし事務内容が対 できるものになっているか	3	性	事務の費用、時間に対してその効果が広く 及ぶものであるか	2
価	有		務が予定。 るか	どおり進捗し目標を達成できて	3	公	受益者に偏りはないか、また、受益者負担 の割合は適切か	4
	効		務を継続 [~] きるか	することで、成果の向上が期待	3	平	受益者負担を求めていない、また、求めて いる状況は適当か	3
	性		務成果が_ るか	上位施策の目標達成に貢献して	3	性	サービスの提供方法に公平性を欠いていな いか	3
評	価の約 コメ			対象者の抽出や助成金の交付に	係る事	事務手統	売きが負担となっている。	
			(評価)	今後も、ほぼ現行どおり進める) ₀			
事務は	の方向の	性	(理由)	低所得者にとって必要な助成と	:考える	うため。		
民間委託又は市民 協働拡大の方向性								
事	務全体	本の	課題	高齢化により事業費及び事務量	世の増大	こが 見込	込まれる。	
● ` □ [7]	₩ Љ Ш	Σm.	[CHECK]					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の 近隣市の実施状況 対象者の基準や助成額等は異なるが、近隣市においても同種の事業を実施している。

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上 に向けた意見等

●改善案【ACTION】

今後の改善策

作業時間を要する対象者抽出について電算システムを導入することで事務時間の軽減を図る。

●企画政策課の評価

企画政策課の意見

RPAやAI等の導入を検討するなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。

事務No.	12 -	-169	事務内容	敬老	事業						
総合計画旅	短策コ	ード	431		事務開	始年度	昭和3	8年度	扣业部友	長寿課	
予算科目		03款	01項	03目	大事業	04	中事業	00	担当課名		
事務事業	名	敬老事	事業								
(中事業/		()

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	長年にわたり社会の発展に貢献してきた高齢者を敬愛し長寿を祝うため
事務の対象 (誰(何)のために)	市内在住の高齢者
事務の概要 (具体的に何を)	・敬老会の支給 数え100歳以上:祝金10,000円と祝品 数え88歳:祝金10,000円 ・敬老事業委託料 代表町内会長に敬老事業を委託。(77歳以上の高齢者に一人当たり1,100円) ・敬老会開催補助金 敬老会開催地区に一人当たり400円

●事務費の内訳【DO】

	項	目		平成2	8年度(決	算)		平成29年	E度(決算	〕	平原	战30年度(予算)
事	務	費	1		31, 58	3,276円			32, 647	,000円		33, 693, 000円
人		工				0.1人	0.1人					0.1人
人	件	費	2		70	7, 298円	710, 461円					718, 991円
総事	務費	3(1)	+2)		32, 29				33, 357		34, 411, 991円	
終	使用料	斗・手数	效料			0円				0円		0円
総財事	国から	らの支出	出金			0円				0円		0円
源内訳③	県から	らの支出	出金			0円		0円				0円
	市費				32, 29	0,574円	33, 357, 461円			, 461円		34, 411, 991円
0	その他	<u>h</u> ()			0円	0円					0円
H29	総事務	务費③	の対前	前年度差額	1,	, 066, 887	刊 J	H29 総事	務費③0)対前年	度比率	3. 30%
(対南	事務前年度	務費の 比10%	増減理の超の	l由 場合記入)								
_	主公弗	$\sigma + \sigma$,	項	目			概	要			金額
=	事務費 主な支	出項目		報酬		数え88歳と100歳以上の高齢者に祝金を支給973人					泛給973人	10,044,820円
	(H29決	:算額)		委託料		代表町内会	会長等に敬老事業を委託30団体17,438人			17,438人	人 19, 181, 800円	
				補助金		敬老会開作	崔地区	区支給 15	5校区 8	,450人		3, 380, 000円

○ 江	○事務全体の結界	早を示すもので、具体的	Jな活動	動量や活動実績(アウト	プット	.)				
(目標値)	具体的な指標	敬老事業委託金額								
信指	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位			
○/示	1日1宗 971 田1夕(生)	18, 759	千円	19, 181	千円	19, 000	千円			
410	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)									
目果	具体的な指標	敬老対象者								
(目標値)	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位			
一惊	1日徐少正多	17, 053	17, 438	人	19, 000	人				
活動	一単位当たりの	平成28年度		平成29年度		平成30年度				
コ	スト(③÷④)	1, 7	721円	1, '	739円	1,811円				

事務No. 12-169

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が 未定の場合の理由	老人福祉法におい	て、趣旨にふさわしい事業を実施するように務めるものと	されているため

●個別評価【CHECK】4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

国土はい		HEUN 4	適止 3: 概ね適止 2:やや	可限が	(V) (J)	1:問題かある 0:該当なし	
		評	価 項 目	評価		評 価 項 目	評価
妥	市	が実施する	ることが適当であるか	4	効	事務の目標に対して費用がかかりすぎてい ないか	2
当	ニに	ーズを把技 あったもの	屋し事務を見直して、社会情勢 かになっているか	2 率		事務時間は適切なものになっているか	4
性				3	性	事務の費用、時間に対してその効果が広く 及ぶものであるか	2
有			どおり進捗し目標を達成できて	4	公	受益者に偏りはないか、また、受益者負担 の割合は適切か	4
効			することで、成果の向上が期待	4	平	受益者負担を求めていない、また、求めて いる状況は適当か	4
性			上位施策の目標達成に貢献して	4	性	サービスの提供方法に公平性を欠いていな いか	3
			事業の目的は達成できた				
		(評価)	今後は、内容を見直して事務を	縮小又	ては統合	する。	
事務の方向性(理由) 西尾市行財政改革推進計画第						こおいて対象年齢の見直しが決定している	
民間委託又は市民 協働拡大の方向性 委託先の代表町内会の規模も						考えるため、現状どおり実施予定。 -	
務全体	本の	課題	高齢者が増加するため、事業費 高齢者が増加するため、祝金等	が増大 を配布	にする。 テするタ	労力が増す。	
	妥当性 有効性 のより のより のおり のより のおり のより のおり に大り	ボーニに 課外 事い 事で 事い 合ン 電動	評評まま <t< td=""><td>評価項目 市が実施することが適当であるか ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか 課題,目標,成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか 事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか 事務を継続することで、成果の向上が期待できるか 性事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか 事業の目的は達成できた 「評価」今後は、内容を見直して事務を加え、方向性(理由) 「四尾市行財政改革推進計画第5日を記載大の方向性を記載して、社会情勢にある。 「本書のになっているか」 「本書のは、本書のは、本書のは、本書のは、本書のは、本書のは、本書のは、本書のは、</td><td>評価項目 評価 項目</td><td> 評価項目 評価 評価 </td><td> 評価項目 評価項目 評価項目 評価項目 </td></t<>	評価項目 市が実施することが適当であるか ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか 課題,目標,成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか 事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか 事務を継続することで、成果の向上が期待できるか 性事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか 事業の目的は達成できた 「評価」今後は、内容を見直して事務を加え、方向性(理由) 「四尾市行財政改革推進計画第5日を記載大の方向性を記載して、社会情勢にある。 「本書のになっているか」 「本書のは、本書のは、本書のは、本書のは、本書のは、本書のは、本書のは、本書のは、	評価項目 評価 項目	評価項目 評価 評価	評価項目 評価項目 評価項目 評価項目

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の 近隣市の実施状況 敬老金品の支給方法や金額の見直しを行っている。

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上 に向けた意見等

●改善案【ACTION】

今後の改善策

●企画政策課の評価

企画政策課の意見

評価の総合的なコメントが「事業の目的が達成できた」のであれば、目的を達成した事務は廃止を検討すべきである。